

# 藤沢市外国人市民会議の提言（概要版）

## 1 情報発信方法と情報の内容について

### 【背景】

外国人は日本語の問題や藤沢市での生活に不慣れなため、なかなか外国人向けの情報を得ることができません。特に災害のない国から来た外国人は災害に備えて何をするべきかわからず不安を感じています。広報についても内容を理解できなかつたり、送られてくる情報が広報であるということすらわからない人もいます。また、藤沢ファンクラブに登録しても情報が日本語のみなので、理解することができません。

### 【提言】

- ① 情報の管理と発信方法の工夫：外国人向けの情報を集めて市役所の窓口で外国人に積極的に伝えてください。また、紙だけでなくデジタルでの情報発信も行っていきたいです。
- ② 言葉と広報の工夫：平仮名ややさしい日本語の情報を増やしてください。特に広報は振り仮名を振ってやさしい日本語で書くことや、外国人用のページをつくってほしいです。
- ③ 多言語版の藤沢ファンクラブメール配信やFacebook ページの作成
- ④ 直接話を聞いて、理解する機会の提供：情報を読むだけでなく、税金や防災などについて直接話を聞けるセミナーを開いてください。
- ⑤ 情報の内容の工夫：今ある情報の他に、増やしてほしい情報があります。市民向けには、外国語が通じる病院や外国人コミュニティ等の情報、観光客向けには、ベジタリアン向けの料理や多国籍食品が売っている場所、スポーツ観戦のマナー等の情報があると良いです。

## 2 交流や助け合いの仕組みについて

### 【背景】

外国人は日本語の壁があり、友達ができるまでに時間がかかります。また、日本に長く住んでいても日本の文化や観光地について知らないことが沢山あります。更に、外国人が安心して藤沢市に住んだり藤沢市を観光できるような仕組みがあれば良いと願っています。

### 【提言】

- ① 交流、相談、学びの場所の提供：外国人どうしや日本人と交流や相談ができる場所、日本の文化や地理を学ぶことができる場所をつくってほしいです。外国人支援の中心となる外国人センターといくつか支所をつくって、気軽に行くことができると望ましいです。
- ② 外国人ボランティアの活用：出身や言語が同じ外国人どうしが一緒に市役所に行ったり、相談をできるようなボランティアの仕組みをつくってほしいです。
- ③ 観光客と交流する機会の提供：外国人観光客と藤沢市に住んでいる外国人や日本人が交流する機会があると良いです。外国で同じ出身国の人に会うと安心できるので、観光客に藤沢市での滞在をより楽しんでもらえると思います。